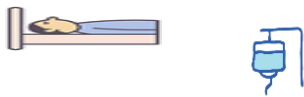


脳動静脈奇形（上腕穿刺）に対するガンマナイフ治療を受けられる様					
	入院前日まで	入院日	治療前	治療後	退院日
月日	月 日		月 日		月 日
到達目標	治療に向けて不安が軽減できる		治療後に起こる不安や苦痛が最小限にできる		退院後の生活がイメージできる
治療薬剤	・治療当日の薬は、治療に影響するため医師の指示に従ってください 	・持参した薬は、患者支援センターで薬剤師に預けて下さい ・預けた薬は、薬剤師が確認します ・確認した薬は、看護師がお返しします ・薬の内服は医師の指示にしたってください ・休日入院の場合は、病棟で看護師に預けてください	・朝の薬は、医師または看護師の指示に従ってください ・朝の薬がある場合は当日朝6時までに内服を済ませてください 	・持参した薬の内服を再開します	【薬剤師】 ・入院中新たに薬の処方があった方には、薬剤師、もしくは看護師より薬の説明があります ・お預かりした薬がある場合は、お返しいたします 
処置検査	・爪は短く切って下さい【入院日までに準備して下さい】 □現在使用中の薬 □お薬手帳 □ボールペン（必要書類サインのため） □入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは入院後になります） □入院案内 □書類 □その他	・指定された時間までに、患者支援センターにお越し下さい。 * 付き添いの方も一緒に来院して下さい ・医師の判断に応じてCT、MRIの撮影を行います 	・7時50分頃、検査着に着替えベッドでお待ちください ・8時頃、病室で点滴を始めます ・治療はガンマナイフ室（1F）で行います ・血管造影のため、上腕の動脈より穿刺し、造影剤を入れます 	・治療から1時間後、固定具穿刺部位より出血していないか、看護師が確認します ・出血していなければ、包帯を除去し、絆創膏を貼付します ・動脈穿刺部の圧迫を外し、包帯を巻きます ・包帯は21時頃に外します ・治療終了後、医師の許可にて点滴終了となります ・治療終了後とその日の午後および就寝前に、体温、脈拍、血圧などを測定します 	・朝、体温、脈拍、血圧などを測定します ・退院前に頭部の絆創膏を貼り替えます ・動脈穿刺部の絆創膏は剥がします
活動安静度		・院内の歩行は自由です 	・病棟の中でのみ、歩行は自由です ・車椅子でガンマナイフ治療室（1F）へ向かいます	・治療終了後、1時間後より院内の歩行は自由です 	・院内の歩行は自由です 
食事		・夕食から食事が出ます	・0時から食べられません ・6時から水分も飲みません ・治療中は水分摂取は可です ・ペットボトルとストローがあると横になったままでも水分をとりやすいです	・食事は治療終了後、1時間より可能です ・昼食は治療時間に合わせて遅れて配膳されます ・夕食は通常通り配膳されます 	・朝食まで食事ができます
清潔		・入浴、洗髪が可能です 	・治療当日は身体ふきはありません		・退院翌日から、入浴、洗髪が可能です
排泄		・トイレで排泄ができます（個々の患者様に応じた排泄介助をします）	・治療前にトイレを済ませてください	・治療終了後、1時間後よりトイレで排泄ができます（個々の患者様に応じた排泄介助をします）	
看護	治療に向けて不安が軽減できるよう支援していきます			治療後の合併症の予防、またはその早期発見ができるよう支援していきます	退院後の生活に向けて支援していきます
	入院による環境の変化や身体への負担が軽減できるよう環境調整を行います				
患者さん・ご家族への説明	・ご不明な点は、お電話ください ・病院代表 0568-76-4131 入院前日までは脳神経外科外来 入院当日は6W病棟にお問い合わせ下さい 	【医師から】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済の方はありません） 【看護師から】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします（外来で説明がお済の方は、サイン記入後、提出してください） ★本人確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます ★病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します ★治療や入院生活について不安があればいつでもお知らせください 	・付き添いの方は、ガンマナイフ開始前より終了までディルूमでお待ちください 【医師から】 ★主治医より結果の説明があります 【看護師から】 ★治療後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます ★痛みや苦痛があればいつでもお知らせください		【看護師から】 ★「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回外来の説明があります ・退院は午前10時までになります ・医療事務が請求書を届けます ・土日祝日退院の場合は医療事務不在のため後日請求の案内が来ます ・病室内点検の後退院となります 
患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。 患者バス作成：2026年2月 小牧市民病院					